

令和 4 (2022) 年度の評価結果一覧

令和 4 (2022) 年度は、10 の基本目標（関連する施策等）に対し、25 の業績指標を設定し、その実績を評価しました。評価結果の一覧を表 1 に示します。業績指標の評価結果の詳細は付録 1 の業績指標個票をご覧ください。

なお、資料中の【P】は、現時点での暫定的な値・記述であり、年度末の確定時に修正される場合があることを表しています（以降の資料・付録についても同様）。

令和4(2022)年度の業績指標・評価結果一覧(表1)

最終年度の業績指標3個

基本目標: 戦略的方向性							
基本目標: 関連する施策等						取りまとめ課	
業績指標	評価期間	初期値 (年・年度)	令和4年度		目標値 (年・年度)	担当課	
			実績値	評価			
1. 防災気象情報の的確な提供及び地域の気象防災への貢献							
1-1 台風・豪雨等に係る防災に資する情報の的確な提供						B	大気海洋部業務課
(1) 台風予報の精度の改善(台風中心位置の予報誤差) <実施庁目標> <政策チェックアップ業績指標>	中期(5-2)	207km (R2)	188km	a	180km以下 (R7)	大気海洋部業務課	
(2) 線状降水帯に対する情報の改善 線状降水帯に関する防災気象情報の改善件数累計 線状降水帯予測の捕捉率 <実施庁目標> <政策チェックアップ業績指標>	中期(5-1)	1件 31% (R3)	2件 32%	a	5件 45%以上 (R8)	情報基盤部情報政策課 大気海洋部業務課	
(3) 大雨警報のための雨量予測精度の改善(降水短時間予報の精度) (大雨の予測値と実測値の比)	中期(5-5)	0.53 (H29)	0.48	c	0.55以上 (R4)	大気海洋部業務課	
(4) 大雨に関する早期注意情報の予測精度の改善 大雨に関する警報級の可能性[高]の適中率 大雨に関する警報級の可能性[中]以上の捕捉率	中期(5-1)	52.3% 73.6% (R3)	50.4% 73.0%	a	60%以上 80%以上 (R8)	大気海洋部業務課	
(5) 大雪の予測精度の改善 (大雪の予測値と実測値の比)	中期(5-2)	0.63 (R2)	0.62 [P]	a	0.65以上 (R7)	情報基盤部情報政策課	
1-2 地震・火山に係る防災に資する情報の的確な提供						B	地震火山部管理課
(6) 緊急地震速報の過大予測の低減(過大・過小予測の割合) <実施庁目標> <政策チェックアップ業績指標>	中期(5-2)	10.7% (H28-R2平均)	0.7% [P]	a	8.0%以下 (R7)	地震火山部管理課	
(7) 津波警報等の視覚による伝達手法の活用推進(津波フラッグの導入割合)	中期(5-2)	14% (R2)	52%	a	80%以上 (R7)	地震火山部管理課	
(8) 地震活動及び地殻変動の解析手法の高度化による「南海トラフ地震に関連する情報」の充実	中期(5-5)	定性目標		a	(R4)	地震火山部管理課	
(9) 火山活動評価の高度化による噴火警報の一層の的確な運用 (火山活動評価を高度化した噴火警戒レベルの判定基準に適用した火山数累計) <実施庁目標>	中期(5-2)	0火山 (R2)	2火山 [P]	b	12火山 (R7)	地震火山部管理課	
1-3 気象防災の関係者と一体となった地域の気象防災の取組の推進						A	総務部企画課
(10) 気象防災ワークショップの実施による避難情報の発令判断における防災気象情報の適切な利活用の促進(ワークショップに参加した職員の数/市区町村数累計)	中期(3-1)	0市区町村	535市区町村 [P]	a	1,741市区町村	総務部企画課	
(11) 気象防災アドバイザーによる地域防災支援体制の拡充 気象防災アドバイザーが在住する都道府県数 気象防災アドバイザーの拡充状況を表す1都道府県当たりの人数指標 <実施庁目標>	中期(3-1)	28都道府県 1.6人	32都道府県 2.0人	a	47都道府県 5人以上 (R6)	総務部企画課	
2. 社会経済活動に資する気象情報・データの的確な提供及び産業の生産性向上への貢献							
2-1 航空機・船舶等の交通安全に資する情報の的確な提供						A	大気海洋部業務課
(12) 飛行場におけるきめ細かな情報の提供開始 (新規に提供する航空気象情報の件数/10分刻みの飛行場ノウハウの提供)	中期(2-1)	0件 (R3)	0件	a	1件 (R5)	大気海洋部業務課	
(13) 海上交通安全等に資する情報の充実(各種情報の改善件数累計)	中期(4-3)	0件 (R元)	4件	a	5件 (R5)	大気海洋部業務課	
2-2 地球温暖化対策に資する情報・データの的確な提供						A	大気海洋部業務課
(14) 地球環境監視に資する温室効果ガス等の情報の充実・改善 (各種情報の新規提供/改善件数累計) <実施庁目標>	中期(4-1)	0件 (R3)	1件	a	4件 (R7)	大気海洋部業務課	
(15) 地域での気候変動適応における気候変動情報の利活用促進 (地域気候変動適応計画において気象庁の気候変動情報が利用された割合) <実施庁目標>	中期(4-3)	94% (R元)	100% [P]	a	100% (R5まで毎年)	大気海洋部業務課	
2-3 生活や社会経済活動に資する情報・データの的確な提供						A	大気海洋部業務課
(16) 週間天気予報の精度向上 (降水の有無の予報精度と最高・最低気温の予報が3日以上はずれた年間日数) 降水の有無 最高気温 最低気温 <実施庁目標>	中期(5-1)	83.6% 84日 53日 (R3)	84.7% 80日 50日	a	85%以上 81日以下 51日以下 (R8)	大気海洋部業務課	
(17) 2週間気温予報の精度向上(最高・最低気温の予測誤差の改善割合) 最高気温 最低気温	中期(5-1)	0% 0% (R3)	-2.0% -0.6%	a	5%以上 5%以上 (R8)	大気海洋部業務課	
2-4 産業の生産性向上に向けた気象データ利活用の促進						C	情報基盤部情報政策課
(18) 産業界における気象情報・データの利活用拡大に向けた取組の推進 (気象データアナリスト育成講座を受講した人数累計) <実施庁目標>	中期(3-2)	0人 (R2)	13人 [P]	c	180人以上 (R5)	情報基盤部情報政策課	
3. 気象業務に関する技術・開発等の推進							
3-1 気象業務に活用する先進的な研究開発の推進						A	気象研究所企画室
(19) 線状降水帯等の集中豪雨の予測精度向上を目指した、現象の機構解明、観測及びデータ同化技術等の開発・改良、並びにこれらの知見の集約を柱とする研究開発の推進(手法等の開発/改良件数累計) <実施庁目標>	中期(5-4)	0件 (H30)	3件	a	4件 (R5)	気象研究所企画室	
(20) 適応策の策定を支援する高い精度の地域気候予測情報を創出するための地域気候予測結果の不確実性低減に関する研究開発の推進(モデル改良等の件数累計)	中期(5-4)	0件 (H30)	1件	a	2件 (R5)	気象研究所企画室	
(21) 火山活動の監視・予測手法に関する研究開発の推進 (手法等の開発/改良件数累計)	中期(3-2)	0件 (R2)	0件	a	2件 (R5)	気象研究所企画室	
3-2 観測・予報システム等の改善・高度化						B	情報基盤部情報政策課 大気海洋部業務課
(22) 数値予報モデルの精度向上 (地球全体の大気を対象とした数値予報モデルの誤差) <政策チェックアップ参考指標>	中期(5-2)	12.8m (R2)	12.2m [P]	a	11.7m以下 (R7)	情報基盤部情報政策課	
(23) 二重偏波気象レーダーデータの解析雨量への活用(解析雨量に利用した件数)	中期(4-4)	0件 (H30)	0件	b	1件 (R4)	大気海洋部業務課	
4. 気象業務に関する国際協力の推進							
4-1 気象業務に関する国際協力の推進						A	総務部国際・航空気象管理官
(24) 開発途上国の気象業務の能力向上に向けた研修等の推進 (研修やワークショップ等を通じて人材育成や技術支援を行った国・地域の数) <実施庁目標>	中期(5-1)	0カ国・地域 (R3)	32カ国・地域	a	110カ国・地域 以上 (R8)	総務部国際・航空気象管理官	
(25) 気象業務の国際的な能力向上に資する技術情報の拡充 (気象庁英語ホームページで新規に提供又は更新した技術情報の数) 目標の分類について、例えば「中期(5-1)」は5年計画の1年目を意味する。 定性的な指標は目標値を「-」とした。 <実施庁目標>・中央省庁等改革基本法(平成10年法律第103号)第16条第6項第2号の規定に基づき国土交通大臣から通知された目標 <政策チェックアップ業績指標・参考指標>・国土交通省政策チェックアップにおける施策目標の業績指標または参考指標となっている指標	中期(5-1)	0件 (R3)	19件	a	110件 以上 (R8)	総務部国際・航空気象管理官	